



## ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

2013~2014 年度 RI 会長 ロン D. バートン  
RI 第 2730 地区ガバナー 大迫 三郎  
鹿児島市内分区ガバナー補佐 飯野 和男・有村 茂樹

週報

### 鹿児島東南ロータリークラブ

会長 上田平 重樹 副会長 井料 長敏 幹事 山田 忠茂  
(例会日、場所) 毎週火曜日、鹿児島市与次郎一丁目8-10  
サンロイヤルホテル Tel 099-253-2020  
(事務局) 〒890-0062 鹿児島市与次郎一丁目8-10  
サンロイヤルホテル4F Tel 259-6855 Fax 259-1622

E-Mail [info@tounanrc.jp](mailto:info@tounanrc.jp) ホームページ <http://www.tounanrc.jp/>

第 2167 回 No.26

平成 26 年 1 月 14 日 (火)

本日のプログラム

「会長・幹事 新年挨拶」

1 月 お誕生日 おめでとうございます。

飯野 和男君(1 日)

若松 利秋君(26 日)

1 月 結婚記念日 おめでとうございます。

飯野 和男君(25 日)

山田 忠茂君(25 日)

#### 第 2166 回例会報告



#### 新春合同例会会長挨拶

鹿児島西ロータリークラブ会長 長柄英男  
明けましておめでとうございます。会員の皆様には新しい年  
をご家族とともに目出度くお迎えのこととお喜び申し上げます。  
本日は森博幸・鹿児島市長、大迫三郎・国際ロータリー  
2730 地区ガバナーを迎え鹿児島市内クラブの新春合同例会  
が開催されました。私はお世話の当番にあたっております、  
鹿児島西ロータリークラブの長柄でございます。

昨年 7 月以来、国際ロータリーはロン・バートン会長の「ロ  
ータリーを实践し、みんなに豊かな人生を」のテーマの許に、  
中核的価値観と呼ばれる「奉仕、親睦、多様性、高潔性、リ

ーダーシップの实践」に努めて参りました。1979 年からロー  
タリーが参画をいたしましたポリオ撲滅の運動は成果を上げ、  
いまや新しい麻痺性のポリオの発生は 3 カ国だけになりました。  
そして間もなく地球上からポリオは無くなると予測され  
ており大変な成果を挙げようとしています。また最近  
ではフィリピンの台風による災害には此所におられる会員一  
人一人がすでに募金をして頂いております。そしてロータリ  
ーのパートナーである「シェルターボックス」を通じて 4000  
世帯に既に救援物資を送りました。

私たちの 2730 地区では、本日ご臨席を賜っております大迫三  
郎ガバナーの指導の許に活動を行って参りました。地区大会  
では職業奉仕の实践報告を感銘深く聞くことができ、自分自  
身の職業の将来や地域の振興に自信が持てるようになった会  
員の方もたくさんおられるのではないかと思います。

社会全体を振り返ってみますと昨年はオリンピック、パラリ  
ンピックの東京開催が決まる。富士山が世界遺産に登録され  
る。またアベノミックスによって経済が好転するなど明るい  
ニュースに恵まれました。また「今年の漢字」には「輪」が  
選ばれ、オリンピックのほか大勢の人が手をつないで輪にな

る、平和の和にも通じると言われております。

一方では、食品の偽装事件が多発し、有名レストランやホテルの表示の偽りは私たちを失望させました。身近で起こった選挙違反事件、さらに周辺各国と日本の平和への脅威などは深刻さを増しているように思えます。

このような世相の中でこそ、ロータリーの4つのテストを思い出さずに入られません。「1、真実かどうか。2、みんなに公平か。3、好意と友情を深めるか。4、みんなのためになるかどうか」4つのテストを実践していれば、昨年起こったすべての問題はたちまちのうちに解決してしまいます。そして、私はやはりロータリーの精神、スピリッツをひろめなければならぬと痛感するのであります。どうぞ皆さん会員の増強にもご尽力を頂きますようお願い申し上げます。

多少強引な、我田引水もありましたが、新年のご挨拶とさせて頂きます。有り難うございました。

#### 新春合同例会ガバナー祝辞

ガバナー 大迫 三郎

新年明けましておめでとうございます。

輝かしい伝統と力強い実績を重ねて、素晴らしい活動を展開して居られます鹿児島市内分区分10クラブの皆様のご合同例会の開催に心からの祝福と敬意を申し上げます。

当地域は私共の第2730地区のリーダー的存在としてロータリーの発展に寄与され、会員お一人、お一人も地域を代表する職業人として又リーダーとして地域の発展に寄与されて居りますこと誠に尊敬の至りでございます。

近代日本の維新から戦中・戦後に至る厳しい世代を立派な数多くのリーダーの大先達が活躍された今日鹿児島薩摩の力強い伝統が脈々とこの地域のロータリーに生きている事、誠に感慨深く崇拝を致しております。

国際ロータリーが創設されたのが1905年ですが、その前年日本はロシアに宣戦布告、日露戦争。203高地激戦や日本海海戦など、大山巖、東郷平八郎などの世界に冠たる戦略知勇のもとに一応戦勝しました。1905年日露講和会議がポーツマスで開催されて居り、ロータリーの創設の時と日本の状況、とりわけ鹿児島の歴史的背景には感慨深いものがあります。日本の歴史にとっても鹿児島はその影響の深さが伺えますし、誠に数多くの史実を有しているのであります。

その様な背景の中で創立したロータリーの中核的価値観は、奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップであります。そしてロータリーの基本的な存在基盤である職業奉仕、いわ

ゆる仕事を通じて家族は勿論、従業員、お客様の幸せを願い、地域社会や国家そして世界、更には青少年の育成に尽くして行く目的を私達は共有して居ります。職業を通じて社会に貢献する意義は人類にとって一番の尊い価値であります。その事をロータリーは追究しているのであります。幸い今日お集まりの皆様はまさに尊い職業を通じてリーダーシップを発揮されて居ります。更に素晴らしい力を発揮されそのパワーでこの市内地域の皆様のご尽力で新しいクラブの創設に力を発揮して戴ける事を新年にあたり期待いたします。そして職業奉仕を通じて地域の発展と世界平和を願うロータリアンを増やして行こうではありませんか。薩摩隼人の心意気に満腔の期待を申し上げ、お祝いの言葉といたします。

#### 出席報告

会員数	31名	前々回出席者	定款体会
出席免除	1名	メイクアップ	定款体会
出席会員	19名	出席訂正率	定款体会
出席率	63.3%		



#### 市長卓話

鹿児島市長 森博幸

皆さま、新年あけましておめでとうございます。鹿児島市長の森でございます。

本日は、市内のロータリークラブの皆様が一堂に会され、新しい年を共に祝う新春の合同例会が、このように盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

皆様方には、それぞれのお立場でご活躍されるとともに、奉仕の精神に基づき、様々な社会貢献活動を積極的に展開されておられますことに、深く敬意を表します。また、市政の各方面にわたりまして、ご理解とご協力を賜っておりますことに心から感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、2020年オリンピック・パラリンピックの開催都市に東京が決定し、富士山が世界文



化遺産に登録されました。五輪招致や世界遺産登録に向け国民が団結し、決定を多くの人が輪となって喜びました。こうしたことから、平成25年の漢字として「輪」が選ばれたのは、記憶に新しいところでございます。

また、国内の景気は、安倍内閣による経済政策により、回復傾向にあるとされており、国民の間には未来への期待が徐々に芽生えつつあります。こうした明るい兆しを確かなものとするために、地方自治体においても、自らの創意工夫と特性を生かした取組を加速し、地域の活力を高めていくことが必要であると考えております。

現在、平成24年に今後10年間の本市の基本的な指針として策定した、第5次鹿児島市総合計画に基づいて、26年度の予算編成を行っているところでございますが、ただ今進めております、本市の取組について、この総合計画に沿ってご紹介してまいります。

まず、「にぎわい交流政策」でございます。

昨年9月、2つのうれしいニュースが届きました。「明治日本の産業革命遺産」の世界文化遺産の国内推薦決定と、「桜島・錦江湾ジオパーク」の日本ジオパーク認定です。関係の方々や市民の皆様と、ともに喜び合い、大変うれしい出来事でございます。明治の産業革命遺産につきましては、現在、関係する8県11市が連携して取組を進めており、本年は、夏頃に（ユネスコの諮問機関である）イコモスの審査を受ける予定となっております。本市の、主な資産候補といたしましては、磯地区の「異人館」、「尚古集成館」、「反射炉跡」等でございます。本市におきましては、これまでも磯地区の住民の方々との意見交換会を開催しておりますが、27年度の世界文化遺産登録を目指し、今後も、事務局である鹿児島県や、市民の皆様と連携した取組を進めてまいります。



次に、桜島・錦江湾ジオパークでございますが、ジオパークの「ジオ」とは、地球や大地を意味する言葉で、ジオパークとは、ツアーやイベントなどによって、地球の素晴らしさや人間とつながりを体感できる場所のことです。活発に活動を続ける活火山桜島と波静かな錦江湾、そして60万都市が共存する、世界的にも稀有な存在であることに注目し、その貴重な地形や地質を保存・活用して、教育・観光・地域振興などに役立てるため、世界ジオパークの認定へ向けての取組を進めております。今後は、本市がこれまで行ってきた取組により一層力を入れると共に、市民や関係団体の皆様とも一緒になり、総合的な情報発信を行い、世界ジオパーク認定へむけて桜島・錦江湾の魅力に一

段と磨きをかけてまいりたいと考えております。

さて、錦江湾を望むかごしま水族館では、昨年11月に、北海道のおたる水族館から、メスのゴマフアザラシが新しい仲間に加わり、2頭で愛らしい姿を見せております。人気者のイルカ達ですが、水族館の目の前にございます、錦江湾につながる屋外のイルカ水路でも、一部のイルカを展示しています。現在の水路では潮位や潮の流れ等の状況により、イルカを水路に出せる時間は限られておりますが、今後、いつでもイルカ達に会えるよう、イルカ水路の整備を進めたいと考えており、錦江湾とイルカの魅力を生かしてまいりたいと思います。

自然豊かな「平川動物公園」は、開園40周年を迎えました。永きにわたり、市民の皆様にあいさされ、多くの皆様に来園いただいております。27年度までの計画で、現在リニューアルを行っておりますが、今年度は「世界のツルゾーン」や、リスザルなどを展示する「南アメリカの森ゾーン」などのリニューアルを進めております。平川動物公園の人気者のホワイトタイガー。昨年5月には、「タイガ」と「コハク」の間に、「リク」、「カイ」、「メイ」の3頭が誕生し、前年に生まれた、「ガク」と「コユキ」も含めて、7頭の日本一の大家族となりました。3頭もこのように大きく成長しています。

また、今年平川動物公園にコアラが最初に来園してから30年の記念の年になります。今年、秋以降の予定となっておりますが、オーストラリアから3頭のコアラが来園することになっております。新たな個体の導入でコアラ舎もにぎやかになることと存じます。



昨年8月、韓国、釜山において、海外で初めてとなる「鹿児島デー」を本市で春季キャンプを行っている韓国のプロ野球球団「釜山ロッテジャイアンツ」のホーム球場で開催したところですが、ロッテジャイアンツには、昨年秋に初めて、鹿児島市で約1か月間の秋季キャンプを行っていただきました。来月には、春季キャンプが実施される予定となっております。

また、現地の旅行会社を訪問し、鹿児島への更なる送客をお願いしてまいりました。これからも、東アジア地域からの観光客誘致に積極的に取り組んでまいります。

また、昨年11月、札幌市と観光・文化交流協定を締結いたしました。毎年、山形屋で「北海道の物産と観光展」が開催されており、食などを通じて北海道を身近に感じられていることと存じますが、両市は、歴史的にも深い関わりがあります。薩摩藩出身の黒田清隆は、開拓長官として北海道の開拓



を指揮し、後に総理大臣となったほか、同じく、村橋久成は、日本初のビール工場の設立に尽力し、現在のサッポロビールの生みの親として知られており、また、「屯田兵の父」と呼ばれた永山武四郎は、第2代北海道庁長官をつとめ、北海道の開拓に情熱を傾けました。このように関係の深い両市が、この協定締結を機に、観光振興の施策推進や、市民の交流促進、民間事業者の皆様方においても、物産展や商談会など、これまで以上に取り組んでいただければと考えております。

今回の札幌市との交流の契機となった長野県松本市をはじめ、人事交流を行う渋谷区・横浜市、兄弟都市の山形県鶴岡市やフレンドリーシティの岐阜県大垣市、さらに、九州内の政令市である熊本市、福岡市、北九州市の3市と、都市間交流の拡大を図ってきたところでございます。今後も国内外の様々な都市との交流を進め、本市の都市力を高めるとともに、多くの方々に本市を訪れていただけるよう鹿児島島の魅力を発信してまいります。

昨年9月、損害保険会社大手NKS Jグループの株式会社プライムアシスタンスと大型コールセンターを新設する立地協定を締結しました。本年4月から鹿児島中央ターミナルビルで操業を開始し、初年度は正社員を中心におよそ100人の雇用が予定されています。昨年は、ここに紹介している企業を含め、計6社と立地協定を締結しており、将来的に、1000人近くの雇用が見込まれております。人材が豊富な、そして南の交流拠点都市である鹿児島市は多くの企業から事業展開の拠点として選ばれております。今後も、商工業の振興と雇用の拡大につなげるため積極的な誘致活動を行ってまいります。

松元地域、春山町の県茶業指導農場跡地では、農産物直売所や多目的広場などを備えた都市農村交流施設の整備を進めており、26年度末のオープンを予定しております。

喜入地域に整備した観光農業公園「グリーンファーム」などとの相乗効果により、グリーン・ツーリズムによる都市農村交流がさらに促進されるものと期待しているところでございます。

次に、「うるおい環境政策」でございます。

昨年11月、本市七ツ島の東京ドーム27個分の土地に、京セラやIHI、鹿児島銀行などによる国内最大級の70メガワットのメガソーラー発電所が竣工しまし

た。一般家庭の約2万2千世帯、本市世帯数の8.2%相当の発電を行うとのこと、再生可能エネルギーの一大供給基地となること



と期待しております。また、本市では16年度から住宅用太陽光発電システムを導入する市民への補助の実施や、市役所庁舎などへ太陽光発電設備を率先して導入するなど、積極的な取組を行っているところですが、今後、市の施設の「屋根貸し」を行い、民間事業者による太陽光発電設備を導入する取組を進めてまいります。また、二酸化炭素の削減を図り、地球温暖化対策を推進するため、自動車の利用を、自転車へ転換することを目的に、電動アシスト自転車を購入する市民に対して補助を行っております。そして、「自転車で走りやすいまち・かごしま」を実現するため、安全な自転車走行空間の整備を進め、自転車走行ネットワークの形成を図るとともに、コミュニティサイクルについては、23・24年度に行った社会実験を踏まえ、26年度の本格実施に向けて取り組んでまいります。

次は、「まち基盤政策」でございます。

九州新幹線鹿児島ルートの中線開業効果で、鹿児島中央駅周辺は進化を続けております。アミュプラザ鹿児島別館の建設工事が着工され、今年秋に開業される予定とのこと。また、中央町19・20番街区においては市街地再開発準備組合が設立され、事業実現に向け、取り組みが進められており、市ではこれらの活動を支援してまいります。

また、皆様ご承知の事と思いますが、天文館地区では、千日町1番街区と4番街区の再開発が計画されております。中心市街地の活性化の観点から大変喜ばしいことであり、地権者の方々に協議会が設立され、地域の皆様が協力・連携して意欲的に取り組んでいただいていると聞いております。また、電車通り向いの、東千石町12番街区のホテル跡地についても、開発計画が検討されているとのこと。中央駅周辺の開発と相まって、ますます都市の魅力の向上につながるものと期待しており、本市も一緒になって取り組んでまいりたいと考えております。照国表参道の天文館シネマパラダイス前の歩道には、にぎわいあふれるまちの創出のため、新たにアーケードを設置する予定でございます。今年度中のアーケード完成を予定しており、雨や灰がふる日も快適な街歩きが楽しめるようになり、回遊性向上にも期待しているところでございます。また、天文館公園の整備が完了し、昨年10月30日、リニューアルオープンいたしました。中心市街地の中の、身近な憩いの空間としてよりいっそう皆様に親しんでいただけることと存じます。市民や観光客などが行き交う、回遊性のあるまちづくりの一環として、鹿児島中央駅から加治屋町の歴史・文化拠点ゾーンについて、清滝川通りの整備を進めて



おります。現在、このように美しく整備されておりますが、さらなる天文館地区への回遊性の向上を図るため、26年度、清滝川通りにつながる上流部を整備します。上町地区では、交通結節機能の強化や魅力ある新たな都市拠点を形成するために鹿児島駅周辺の都市拠点総合整備事業に取り組んでおります。憩いの場となる緑豊かな公園や芝生広場、各種催しなどが開催ができる屋内・屋外のイベント広場、パークアンドライド等にも活用できる駐車スペースなどの整備に向け、施設基本計画の作成等を行っております。また、駅舎や駅前広場、線路を挟んだ東西を結ぶ自由通路などの整備に向けた施設の検討や関係機関等との協議を行っております。また、市民活動を支える交通環境の整備を進めているところでございますが、谷山地区連続立体交差事業におきましては、谷山駅から慈眼寺駅までの約2.7kmを高架化することにより、鉄道による地域分断解消や踏切除却による都市生活の安全性、快適性の向上など、都市環境の改善を図ることとしており、28年度の事業完了を予定しているところでございます。また、高架下の空間の活用についても、地域の方々の意見をうかがいながら、検討をしております。道路の整備につきましては、昨年秋には新武岡トンネルが開通し、交通渋滞が緩和される効果が出ているところですが、市内交通体系ネットワークの整備の一環として都市計画道路宇宿広木線の整備を行っており、平成27年3月の完成を目指して工事を進めております。この道路が開通いたしますと、田上・山田方面から、南部の商業地域等への交通が円滑になり、安全性の向上や市内交通体系の改善が期待されます。

次は、「すこやか安心政策」でございます。防災につきまして、今年は、大正噴火から100周年を迎えます。今月12日には、「大正噴火『防災』100年式典」と防災訓練を行う予定となっております。皆さんもご存知かと思いますが、大噴火により流出した、約30億トンもの溶岩は、約20日かけて当時の瀬戸海峡を埋め尽くし、桜島と大隅半島が陸続きになりました。このような噴火の影響を語り継ぎ、そして、過去の教訓を現在に生かすべく、県と連携して防災ガイドブックを作成するなど、市民の防災意識の高揚を図っております。

本市の郡山地域の一部は、川内原発から概ね30km圏内の、UPZ、緊急時防護措置準備区域に含まれております。昨年10月には、地域防災計画に基づく、原子力総合防災訓練を実施しました。そして、11月にはこの訓練を踏まえた、原子力災害対策避難計画を策定しました。市民の皆さんの防災

意識の向上を図り、自然災害から身を守るための行動や、策定した避難計画の概要をまとめた「市民のための防災ガイドかごしま」を作成し、先月、全世帯に配布したところでございます。



次に、子育てにつきまして、谷山地区に子育て支援施設と保健センターの複合施設として整備を進めてきた、南部親子つどいの広場と新南部保健センターが先月24日、オープンしました。南部親子つどいの広場の愛称は、「たにっこりん」です。多くの皆様に親しまれる施設になるものと期待しております。さらに、今年7月を目標に、吉野地域に、北部親子つどいの広場、愛称「なかよしの」の整備を進めております。今後は、天文館地区の「なかまっち」、与次郎地区の「りぼん館」とあわせ、親子つどいの広場のネットワークを生かし、子育てに関する情報の発信と、さまざまな主体による支援の仕組みを整え、多面的な子育て支援を推進してまいります。また、保育所につきましては、保育所待機児童の解消を目指して、引き続き、保育所の定員拡充を行うとともに、保育コーディネーターの設置、認可外保育施設への支援の充実などを図ってまいります。このほか、小学校就学前の乳幼児を対象としていた入院、通院にかかる医療費助成を、小学6年生までに対象を拡大した、こども医療費助成制度を昨年8月から開始しました。今後も、家庭における子育て環境の充実に努めてまいります。

日本たばこ産業の跡地については、市立病院と緑地、交通局施設を整備する予定としており、こちらは、新たに整備する市立病院の完成イメージ図でございます。平成27年度の開院に向けて、建設工事を進めているところであり、安心安全な質の高い医療の提供を行うため、ハード、ソフト両面から病院機能の充実に努めるとともに、地域医療機関との連携を図っているところでございます。今後は、ドクターヘリやドクターカーも活用しながら、救命救急医療の高度化に取り組んでまいります。なお、現在、交通局施設についても整備工事を進めており、新しい市立病院と同時期の、27年度完成予定となっております。また、市立病院、交通局の移転後のそれぞれの跡地については、市街地中心部における貴重な財産であることから、その活用方法について、本市のまちづくりの観点も含めて、総合的に検討を行ってまいります。

次は、「まなび文化政策」でございます。

明治維新から150年を迎える平成30年までの期間、カウ



た鹿児島に関わりが深い出来事を題材とするイベントを開始しております。昨年は「薩英戦争」をテーマに、シンポジウムなどのイベントを開催しました。今年、薩摩藩が1864年に、現在の小川町に、科学や軍事に関する人材の育成のために設立した洋学校である「開成所」をテーマにして、薩英文化祭や講演会を開催する予定としております。昨年10月、鹿児島の歴史、景観を感じられる市立美術館、探勝園、かごしま近代文学館・メルヘン館などで、市民参加型のイベント、「音とあかりの散歩道」を開催しました。音楽家、伝統芸能の担い手、約20組が集い、まちを多彩な音楽とあかりで包みました。昨年夏には、市役所みなと大通り別館1階に、文化に関する情報発信や各種事業を市民協働で推進するための拠点、「かごしま文化情報センター」もオープンし、積極的に文化創造プロジェクトに取り組んでいるところです。

今後も美術、音楽、地域伝統芸能に重点をおいて、文化振興を通じた元気な地域づくり、人づくりをすすめてまいります。

「文化の国体」とも言われる「第30回国文化祭」が27年秋に鹿児島県で開催されます。国文化祭は、全国各地から、アマチュアを中心とした文化団体や愛好者が集まり、各種文化活動の成果を発表・競演・交流する日本最大の文化の祭典です。本市では、能楽や本場大島紬フェスティバルなど、14の事業を主催する予定となっております。また、郡山地域、スパランド裸・楽・良（ららら）隣の、郡山総合運動場内に体育館を建設することとしており、27年度の完成を目指し、準備を進めております。郡山総合運動場の各施設とあわせて、スポーツキャンプなどにもご活用いただけるのではないかと考えております。

最後は、「信頼・協働政策」でございます。

市民の利便性向上を図るため、市役所の開庁時間以外においても、コンビニエンスストアで住民票の写しなどを交付するシステムを構築し、今月14日から稼働することとしております。利用には、住民基本台帳カードが必要ですので、カードを作成していただき、利用者登録のうえ、是非ご利用いただきたいと存じます。

また、昨年11月、26年度の完成を目指して、市役所西別館の本体整備工事に着手したところでございます。市民の皆様は、安全、快適にご利用頂き、効率的で質の高い市民サービスを提供できるよう、より一層努力してまいります。

さて、終わりに、鹿児島市は、本年4月1日に市制125周年、11月1日には、1市5町の合併から10周年を迎え、秋にはこれを記念した式典を開催することとしております。

これまでの先人たちの英知とたゆみないご努力に深く敬意と感謝の意を表するとともに、この節目の市政を預かる者として本市の限りない発展に向けて着実な歩みを進め、将来に引き継いでいくよう、決意を新たにしているところです。

これまで私が進めてまいりました、さまざまな取組が、26年度、27年度と、目に見える形で現れてまいります。こうしたことから、今年はこれらの取組を着実に進める、大変重要な1年であると考えております。少子高齢化や人口減少など、先を見通すことが難しい時代ではありますが、本市の取組の一つひとつが、明るい未来への布石となるよう全力を傾け、真に“豊かさ”を実感できるまちを創造してまいりたいと思っております。

最後になりますが、皆様方におかれましては、本年も市政の推進に、より一層のお力添えを賜りますようお願いいたしますとともに、新しい年が、夢と希望の持てるすばらしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。

本日はありがとうございました。

\*\*\*\*\*

## ●2月プログラム

- 2月4日（火） 国際奉仕委員会
- 2月11日（火） 建国記念日で祝日のため休会
- 2月18日（火） 新入会員卓話（予定）
- 2月25日（火） 鹿児島西 RC 藤安会員卓話

☆メーキング（記憶）できます。			
1/21 社会奉仕・青少年奉仕委員会	1/28 フリートーク	2/4 国際奉仕委員会	
月/日	クラブ	例会場	プログラム(☆変更)
1/15 (水)	鹿児島南	サンロイヤル	ローラーを語る
	鹿児島西	山形屋	クラブ'フォーラム
	鹿児島西南	ゆうづき	クラブ'協議会
1/16 (木)	鹿児島東	山形屋	情報委員会フォーラム
	鹿児島北	レンブラントホテル	クラブ'協議会
	鹿児島サザン	鹿児島東急イン	クラブ'協議会
1/17 (金)	鹿児島	山形屋	第3000回記念例会 18:30~20:30 於:山形屋7階ファミリ-レストラン
1/20 (月)	鹿児島中央	山形屋	クラブ'協議会
1/21 (火)	鹿児島城西	鹿児島東急イン	クラブ'協議会